

1 行列とその加法・減法

◆行列の表し方

Question 1

ある会社では、「一緒に映画に行きたい人」と「弁当代を貸してあげてもよい人」を尋ねる調査を行った。この調査は、前者が親しみを感じている人、後者が信用できる人を表しており、新企画のチーム分けをする際の参考とするためである。ある部署に所属する A ~ E の 5 人の調査結果は、次のようになった。

- A が一緒に映画に行きたい人は, B, C, D, E. 弁当代を貸してあげてもよい人は, D, E.
- B が一緒に映画に行きたい人は, C, D, E. 弁当代を貸してあげてもよい人は, A, D.
- C が一緒に映画に行きたい人は, A, D. 弁当代を貸してあげてもよい人は, D.
- D が一緒に映画に行きたい人は, B, C, E. 弁当代を貸してあげてもよい人は, A, B, E.
- E が一緒に映画に行きたい人は, A, D. 弁当代を貸してあげてもよい人は, B, C.

A ~ E のうち, 最も多くの人に親しまれている人は誰だろうか。お互いに親しみを感じているのは, 誰と誰だろうか。また, 信用されている人についても同様に調べてみよう。

Step 1-1] 次の表で, A ~ E のそれぞれが, 「親しみを感じている人」として挙げた人には「1」を, 挙げていない人には「0」を記入してみよう。ただし, 自分自身には「0」を記入すること。

B の「一緒に映画に行きたい人」の場合, C, D, E は 1, それ以外は 0 とする。

		親しみを感じている人				
		A	B	C	D	E
調査の回答者	A	()	()	()	()	()
	B	0	0	1	1	1
	C	()	()	()	()	()
	D	()	()	()	()	()
	E	()	()	()	()	()

1 離散グラフとその活用

◆離散グラフの意味

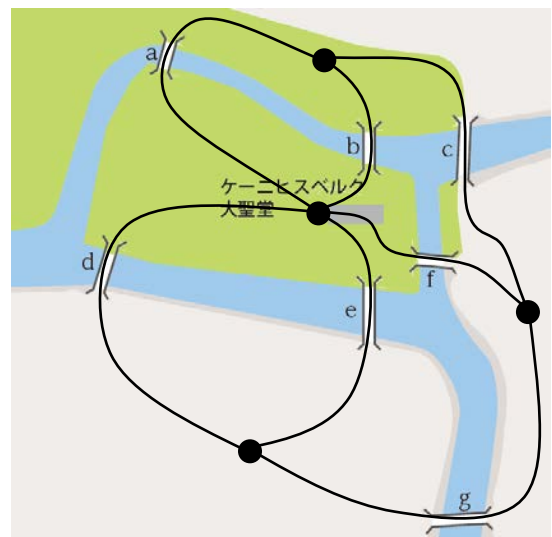
Question 1

ロシアの都市カリーニングラードは、18世紀頃にはケーニヒスベルクとよばれていた。この町には、図1の地図のようにプレーゲル川が流れており、「7つの橋(a, b, c, d, e, f, g)のすべてを1回だけ渡ってクナイプホーフ島を散歩する計画を立てることができるか。」というような問題があったという。すべての橋を1回だけ渡る散歩は計画できるだろうか。



Step 1-1 この町をどのような図に表すと、散歩の計画を考えやすくなるだろうか。

次の図は、地図から道などの細かい情報を除いたものである。それぞれの土地に1か所ずつチェックポイント（図の●）を置き、スタートやゴール、橋を渡った後は必ずそこへ行くことにする。通る橋やチェックポイントを参考に、クナイプホーフ島周辺の様子を、点や線などの図に簡略化してみよう。





165ページ

行列の積の計算



書名入る > 4章 数学的な表現の工夫 2節 行列に表す



Reset

$$A = \begin{pmatrix} 0.55 & 0.60 \\ 0.45 & 0.40 \end{pmatrix}$$

$$\begin{pmatrix} a_1 \\ b_1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 3500 \\ 3500 \end{pmatrix}$$

$$A^1 = \begin{pmatrix} 0.550 & 0.600 \\ 0.450 & 0.400 \end{pmatrix}$$

◀ 1 ▶

$$\begin{pmatrix} a_2 \\ b_2 \end{pmatrix} = A^1 \begin{pmatrix} a_1 \\ b_1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 4025 \\ 2975 \end{pmatrix}$$



178ページ

隣接行列とその計算



[書名入る](#) > [4章 数学的な表現の工夫](#) > [3節 離散グラフに表す](#)



Reset

$$B = \begin{pmatrix} 0 & 1 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 1 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 0 & 1 & 0 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 0 & 0 & 0 & 1 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 0 & 1 & 0 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 1 & 0 & 1 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$$

↓計算

$$B + B^2 = \begin{pmatrix} 0 & 1 & 1 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 1 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 2 & 1 & 0 & 1 & 0 & 2 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 1 & 0 & 0 & 0 & 1 & 1 & 0 \\ 0 & 2 & 1 & 0 & 1 & 0 & 1 & 2 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 2 & 0 & 1 & 2 & 1 & 1 & 1 & 0 \end{pmatrix}$$



巻末



182ページ

185ページ



[書名入る](#) > 巻末

失われた宝を探せ



この島に井戸と1本の梅の木と1本の松の木がある。
まず、井戸から梅の木に向かってまっすぐ歩き、梅の木に着いたら、
直角に右へ曲がり、同じ距離だけ歩き、そこに杭を打て。
次に、井戸から松の木に向かってまっすぐ歩き、松の木に着いたら、
直角に左へ曲がり、同じ距離だけ歩き、そこに杭を打て。
宝は、2本の杭の中間地点に隠してある。



宝を探す

スキップする





巻末



182ページ



185ページ

節末・章末・巻末解答（略解）



[書名入る](#) > 巻末

解 答

1章 ベクトル

1節 Trainingp.33

- 1 (1) $-\vec{a}-\vec{b}$
 (2) $-2\vec{a}$
 (3) $-\vec{a}+\vec{b}$
 (4) $-\vec{a}-2\vec{b}$
- 2 (1) $(-1, -3)$
 (2) $(1, -7)$
 (3) $(1, 3)$
- 3 (1) $\left(-\frac{3}{\sqrt{13}}, \frac{2}{\sqrt{13}}\right)$
 (2) $\left(\frac{1}{5\sqrt{2}}, -\frac{7}{5\sqrt{2}}\right)$
- 4 $x = -\frac{3}{2}$
- 5 $t = 2$
- 6 $\left(-\frac{2\sqrt{3}}{3}, \frac{\sqrt{15}}{3}\right), \left(\frac{2\sqrt{3}}{3}, -\frac{\sqrt{15}}{3}\right)$
- 7 $\vec{c} = 2\vec{a} + \vec{b}$
- 8 B $(-4, 6)$
- 9 (1) $2\sqrt{2}$
 (2) -4
 (3) $-2\sqrt{2}$
- 10 (1) $\theta = 180^\circ$
 (2) $\theta = 150^\circ$
 (3) $\theta = 90^\circ$
 (4) $\theta = 45^\circ$
- 11 $\vec{a} \cdot \vec{b} = -6$
 $\theta = 135^\circ$

12 \vec{a} と \vec{b} のなす角を θ とすると

$$\vec{a} \cdot \vec{b} = |\vec{a}| |\vec{b}| \cos \theta$$

(1) $\vec{a} \cdot \vec{b} = \frac{1}{2} |\vec{a}| |\vec{b}|$ が成り立つ

のは

$$\cos \theta = \frac{1}{2}$$

のときである。

$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ であるから

$$\theta = 60^\circ$$

よって、 \vec{a} と \vec{b} のなす角が 60°

となるときである。

(2) $\vec{a} \cdot \vec{b} = |\vec{a}| |\vec{b}|$ が成り立つのは

$$\cos \theta = 1$$

のときである。

$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ であるから

$$\theta = 0^\circ$$

よって、 \vec{a} と \vec{b} が同じ向きにな

るときである。